

# みんなで環境創造

## エコ星人発見

「リサイクルパーク・環境共育講座」



環境課 ☎ 1149



真剣に説明を聞きながら布を切ります

12月5日、リサイクルパークで、環境共育講座「壊れた傘の布を利用したエコバッグ作り」が行われました。講座の様子と取り組みを、講師の木場多寿子さんに取材しました。

《活動をするきっかけは?》  
私は、洋裁が趣味で、自分の服を作ったりするのがとても好きです。友人から、エコバッグ作り



すてきなバッグに生まれ変わりました

のカタログを頂いたことをきっかけに、自分なりに工夫して作ってみましたら丈夫で使いやすい袋が出来たので、ほかの人に伝えたいと思い、活動するようになりしました。

《取り組みんだ感想は?》  
この日は、3人のかたがエコバッグ作りに挑戦しました。完成したバッグを前に次のような感想をいただきました。

「初めてのことで少し時間の

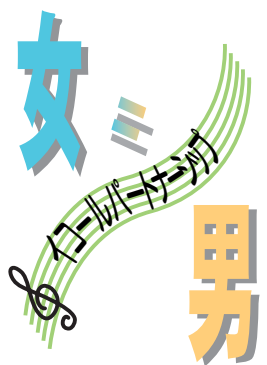
がかかりましたが、とても良い袋が出来上がったと思います。思い出の傘で作れば、より素晴らしいものになるでしょう。壊れた傘は、捨てればごみとなりますし、この活動は環境にも優しいと思います。」

「骨が折れた傘を捨てるのは、もったいないと思っていました。このような活用の仕方なら納得できます。作業も楽しいですし、布を取った骨も金属として利用できるのでも、素晴らしいことだと思います。」

《環境課から》  
この講座は、新しく始めたリサイクルパークの環境講座です。本来不燃ごみとして埋め立て処分されるごみを、資源として再使用するという試みです。

完成したエコバッグは、防水で大変軽くて丈夫という特徴があります。壊れた傘が生まれ変わるのには感動的です。こうした知恵と工夫で、ごみを資源として活用し、ごみの減量化で地球環境を良くしたいと考えています。

こうした学習に環境課として、積極的にかかわっていきます。



## 男女共同参画は、家庭から

vol.90

市民課人権・生活係

☎ 1126

ある意見交換会で「男女共同参画は、家庭から」と、年配の男性から提案がありました。それは、「家庭は社会の基本であるので、家庭の中で男性から意識を変えていくことが先決だ。」というご意見でした。

家庭は、最も小さい社会の単位です。小さい単位であるがゆえに、家族間の意思疎通もしやすいと考えられます。

「親の背を見て子は育つ」といわれるように、こどもにとって家庭の役割は大きく、また、男女共同参画においても例外ではないと思います。

親が共に助け合い、尊重しあう姿を見て育てば、こどもにも、自然にその意識が身に付いていくことでしょう。

家庭では、男女が共に家事、育児を役割分担しないと、ついつい女性に負担がいきがち

になります。たとえば男性が、休日には女性に代わって家事や育児にかかわることで、女性の思いも分かり、こどももコミュニケーションが図れます。女性にとつては、男性の違った一面を発見でき、お互いの存在を再認識できる機会になるでしょう。

家庭によって、構成する世代はさまざまですが、どの世代においても、男女がお互いを思いやり、いたわる気持ちは大切なことです。

男女共同参画には、意識の変革や毎日の積み重ねが必要です。それは、男性だけに限らず、女性にも共通することです。家庭で育まれた男女共同参画の意識が、やがては社会に反映されるように、わたしたち一人ひとりが、お互いを認め合い、共に歩んでいく姿勢で臨みたいものです。